

令和4年6月20日

医療機関の長様

大阪市新型コロナウイルスワクチン接種推進監

### 新型コロナワクチンに関する間違い接種の防止について（その2）

平素は本市の感染症対策をはじめ、保健・衛生行政の推進にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和4年4月21日付事務連絡「新型コロナワクチンに関する間違い接種の防止について」にて対象者の年齢やワクチンの種類等の事前確認など管理運営にあたり、各種ワクチンの取り扱いについて情報提供しておりましたが、下記1のような間違い接種が発生しております。

今後、武田社ワクチン（ノババックス）による接種の機会が増えることから、安全なワクチン接種の実施のため、下記2を参考に間違い接種の防止に引き続き努めていただきますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 間違い接種事例

<間違い1> 12歳の者の追加（3回目）接種に武田/モデルナ社ワクチンを0.25ml接種した。
間違いの背景 追加（3回目）接種に使用するワクチンはいずれも12歳以上に接種可能と思い込み、武田/モデルナ社ワクチン「スパイクバックス筋注」による追加（3回目）接種は18歳以上にしか実施できないことを知らなかった。
<間違い2> 予約をした時点では11歳であったため5～11歳用ファイザー社ワクチンを予約。接種当日は誕生日を迎え12歳になっていたが予約のとおり5～11歳用ファイザー社ワクチンを接種した。
間違いの背景 予約受付時に、接種日時点での年齢におけるワクチン種類を受付していなかった。 また、接種当日の受付、問診において年齢を確認せずワクチンを準備し接種した。
<間違い3> 冷蔵保管31日を超過していた12歳以上用ファイザーワクチンを、使用期限切れと知らず接種した。
間違いの背景 ワクチンの種類及び保管方法（冷凍・冷蔵）により使用期限が異なることを知らず、バイアルラベルに記載の「最終有効期限」が接種可能期限と誤認していた。

#### <間違い4>

他の予防接種の不活化ワクチン接種後、13 日以上の間隔をあけずに新型コロナワクチンを接種した。

#### 間違いの背景

新型コロナワクチンのうち臨時の予防接種で使用されている「コミナティ筋注」「スパイクバックス筋注」「バキスゼブリア筋注」「ヌバキソビット筋注」については、前後に他の予防接種を行う場合、原則として 13 日以上の間隔をおくこととされているが、これを知らずに接種した。

なお、創傷時の破傷風トキソイド等、緊急性を要するものに関しては、例外として 2 週間をあけずに接種することが可能。

## 2. 参考

- 対象年齢の考え方

12 歳以上用ファイザー社ワクチンは 12 歳の誕生日の前日以降に接種可能。

5～11 歳用ファイザー社ワクチンは 12 歳の誕生日の前々日まで接種可能。

④保護者が希望されたという理由で、対象年齢外のワクチン種類を接種することはできません。各ワクチンの対象年齢にご留意ください。

- 参考資料

接種実施にあたって確認は医師のみが行うのではなく、複数人が分担し、かつ責任の所在を明確にしてチェックが行えるよう別紙資料をご活用ください。

別紙「接種間違い防止のチェックリスト」

大阪市保健所  
感染症対策課（ワクチン接種等調整チーム）  
電話：06-6647-0813 FAX：06-6786-8003

**【参考例】接種間違い防止のチェックリスト**

予防接種を適正に行なうために、確認は医師のみが行うのではなく、複数人が分担し、かつ責任の所在を明確にしてチェックを行えるような体制を整えておくことが重要です。以下のチェック項目をご参照ください。

参考：予防接種間違い防止の手引き 予防接種ガイドライン等検討委員会

**1 受付時の確認事項**

- 対象者を住所、フルネーム、年齢、生年月日で確認する。
- 予防接種の種類と回数を確認する。
- 対象者がワクチンの対象接種年齢であるか確認する。
- 接種歴を確認する。
- 直前の予防接種実施日からの間隔を確認する。
- 予診票の質問事項がすべて回答されているか確認する。
- 検温を行い、記録する。

**2 問診時の確認事項**

- 対象者を住所、フルネーム、年齢、生年月日で確認する。
- 予防接種の種類と回数を確認する。
- 対象者がワクチンの対象接種年齢であるか確認する。
- 接種歴を確認する。
- 直前の予防接種実施日からの間隔を確認する。
- 接種前の検温を確認する。
- 予診票の記載に漏れがあれば確認する。
- 診察を行い、体調を確認する。
- 医師署名欄にサインする。
- 保護者（又は本人）の承諾サインをもらう。

**3 接種時の確認事項**

- ワクチンの種類および有効期限を確認する。
- ワクチンの外観を確認する。
- ワクチンを吸引前によく振り混ぜる。
- ワクチンの接種量を確認する。
- 接種方法を確認する。

**4 接種後の確認事項**

- 使用済み注射器はリキャップをせずに、そのまま廃棄容器に適正に破棄する。
- 予診票、カルテ、母子健康手帳などに接種日、メーカー名、ワクチンロット番号、接種量、医療機関名などを記載する。
- 予診票を回収したか確認する。
- 接種終了後の注意事項を説明する。
- 副反応にそなえ、接種後 30 分程度待機させる。

**5 ワクチン保管の確認事項**

- ワクチンの保管については、各ワクチンの添付文書で確認する。
- ワクチンの種類別に整理し、使用予定数を確保しておく。
- 有効期限までの日数が長いものは奥に、短いものは手前に置く。
- 保管庫の温度を記録する（保管庫内に最低最高温度計を入れておく）。